

蔵王連峰夏山開きと蔵王エコーライン開通式典に参加しました

令和7年4月25日(金)に、山形県と宮城県との県境にほど近い刈田峠駐車場にて、「令和7年度蔵王連峰夏山開きと蔵王エコーライン開通式典」が開催されました。

蔵王エコーラインは、宮城県蔵王町と山形県上山市を結ぶ「県道(主要地方道)白石上山線」の一部で、延長26kmの山岳観光道路です。完成当初は有料道路でしたが現在は無料で通行できます。

蔵王の御釜(と周辺のカルデラには立ち入りできません)や刈田岳をはじめとした蔵王連峰へアクセスできる重要なルートであり、沿線の両側は大部分が国有林でブナ、オオシラビソ(別名アオモリトドマツ)などの樹木が目を楽しませてくれます。もっとも運転される方は、くれぐれもよそ見をしないように。

式典は沿線の関係者らによる安全祈願、蔵王連峰夏山開きなどの宣言、誓いの言葉と剣の交換(宮城県側→山形県側)、そして両県の各地から集合した何人かのご当地キャラに見守られながらテープカット・くす玉開きが行われ、セレモニーは無事に終了。待ちかねた一般車両が蔵王エコーラインの通行を始めました。

蔵王連峰をはじめとした高山では、低い山では中々見られない雄大な景色や、高山植物などに出会えるなど非日常を味わうことができる半面、天候の急変や厳しい気象条件に見舞われることも。装備や情報収集を万全にして、遭難防止に心がけたいものです。

山形県側の沿線の国有林を管理する山形森林管理署としましても、蔵王国定公園に指定されている現地の自然環境と景観の維持に努めるとともに、森林レクリエーションの場としての管理経営を行うことで、国民に開かれた森林として保全・整備してまいります。

